

■ 巻頭言 ■

## さらなるバイオエシックス・ネットワークの構築へ向けて

この度は、「グローバルゼーション」というテーマにおいて、会員の皆様のご協力のもと、第8号会誌を発行できましたことを心より感謝いたします。この1年の軌跡を振り返りましても、新しくより広い専門分野に渡る取り組みがなされ、おかげさまで大変意義深い歩みとなったのではないかと思います。

また、研究テーマもさることながら、本会へのアクセスの面におきましても「グローバル化」を進めている段階です。その手始めとして、本号会誌より広くオンラインで閲覧いただけるようPDF化を試行し、それに伴い本会ホームページの刷新を行いました。諸々変革にあたり、引き続き皆様のご意見をお寄せいただけましたらと思います。なお、新ホームページのURLは、<http://bioethics-s-n.seesaa.net/>です。ぜひご覧いただけましたら幸いです。

とくに今回、ホームページのデータの移動を行うにあたり、過去の研究会や会誌の資料を見返しておりましたら、本当にたくさんの方々にご支援いただきましたことを改めて実感いたしました。おかげさまで本会はまもなく15年の歩みになろうとしておりますが、これもひとえに会員の皆様をはじめご関係各所の先生方の厚いご支援の賜物であることを、ここに厚く御礼申し上げます。

さらに本年は、本会の立ち上げ時の賛同者でもあり、日頃よりご指導いただいている木村利人先生が、日本生命倫理学会の第7期代表理事に就任されたことによりまして、本会は今後より一層生命倫理学会との連携を強めて、新しい展開を図っていきたいと考えております。その一つとして、2009年11月14日(土)・15日(日)に開催される第21回日本生命倫理学会年次大会(於:東洋英和女学院大学、大林雅之大会長)では、研究発表・大会運営の両面から、より積極的に関わっていきたく志を一つにしている所存です。

末筆ながら、皆様のますますのご活躍をお祈りいたしますとともに、今後ともより一層のお力添えを賜りたく、バイオエシックスを考える会事務局一同、どうぞよろしく願い申し上げます。

2009年3月

バイオエシックスを考える会・代表  
川上 祐美